

所属・資格 史学科・教授

申請者氏名 松重 充浩

研究課題		日本大学文理学部所蔵戦前・戦中期大連の資料環境整備に関する研究
報告の概要	研究目的 および 研究概要	本研究は、現代の所謂「北朝鮮核武装問題」に示されるような東北アジア地域における政治的不安定化や対立への対応を考察する上で極めて重要な前提的課題の一つでありながら、従来十分な蓄積がなされてこなかった当該地域の歴史的政治構造を解明していくことを目的に、その一階梯として、日本大学文理学部所蔵戦前・戦中期大連関係資料の整理と解題作成を行い、当該研究における資料環境の整備を図ることを研究概要とするものである。
	研究の結果	本研究の結果は、次の通りとなる。 (1) 申請者が主に本部総合研究等の外部資金により収集してきた日本大学所蔵の戦前・戦中期大連関係資料の摘出と書誌データの整理を行った。その際、各種データの入力に際して作業効率を図るために学生アルバイトを利用した。 (2) 書誌データ整理が終わったものから順次、その歴史的位置づけを、当該期の政治・経済・社会的含意を軸に行い(史料批判)、当該資料を研究において利用していく上での諸条件(その資料が示す内容の正当性と問題点)の確認をおこなった。その際、関連消耗図書を参考文献として購入した。
	研究の考察・反省	上述した研究結果の具体的な大きな成果として、未整理だった本学部への寄贈資料である「赤木英道旧蔵記録」と「阪下徳道旧蔵記録」の整理・目録化が完了したことをあげることができる(概要に関しては、2019年度中に日本大学文理学部資料館HPでの公開を予定)。その研究過程の中で、大連における特徴として従来から指摘されながら、その形成内実の解明が等閑視されて「国際都市大連」が、南満洲鉄道株式会社を軸とする、海外留学体験者、米国移民(含、二世)、外国人顧問などの、当該期日本が持った海外人的ネットワークをフルに活用しながら構築されていたことが確認出来た。 反省点としては、上述新規整理資料と既存整理済み各種資料との相互関連性の検討が、主に時間的な制約により遂行できなかったことであり、今後の課題としたい。
研究発表 学会名 発表テーマ 年月日/場所 研究成果物 テーマ 誌名 巻・号 発行年月日 発行所・者	<p>※この欄は、本報告書提出時点で判明している事項についてご記入ください。</p> <p>【研究報告】 単著「日本大学文理学部におけるビジュアル資料の収集について」、公開シンポジウム「日本大学文理学部におけるビジュアル・メディアの収集と活用～実例から見る修復、保存、管理、公開における課題と未来～」、日本大学文理学部情報科学研究所主催、於日本大学文理学部図書館棟3階オーバルホール、2018年10月27日開催。</p> <p>【研究成果物】 単著「日本大学文理学部における「満蒙」関係諸記録の収集と保存および公開の試み」『善隣』500号、10-19頁、国際善隣協会、2019年2月。</p>	